

平成29年度の災害警備訓練の取組

北海道警察本部

1 大規模災害災害を想定した訓練

(1) 北海道警察・夕張市合同災害警備訓練 (H29. 8)

- ・大雨、台風期に備え、8月上旬、夕張市、夕張市消防本部、道などとともに大雨による浸水や土砂崩れを想定し、救出救助、避難誘導などの訓練を実施
- ・夕張市民約100人がこの訓練に参加



(2) 広域緊急援助隊等合同災害警備訓練 (H30. 2)

- ・大規模災害時に被災地に派遣される「広域緊急援助隊」の対処能力の向上を図るため、冬季における札幌市内の大規模地震を想定した訓練を、ブラインド要素も入れて実施
- ・青森・宮城両県警察の広域緊急援助隊のほか、陸上自衛隊第11旅団、札幌市消防局、DMATなどと合同で実施



2 防災関係機関との連携を高める訓練

- ・第一管区海上保安本部と道警察が連携した災害時の相互協力に関する覚書に基づき、輸送支援に係る訓練を実施
- ・北海道経済産業局などと、災害時を想定した燃料の応急供給訓練を実施



(写真左)

道警本部ヘリポートで海保ヘリに搭乗する警察官(H29. 11)



(写真右)

道警本部非常発電機へ重油を供給(H30. 2)